

ただいま卒業証書を授与致しました442名の卒業生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。そして、保護者の皆さま、お子様のご卒業心よりお祝い申し上げます。本日はPTA会長渡辺英治様、部活動後援会会長岩井一好様のご臨席を賜り、第24回卒業証書授与式を挙行できますこと、大変嬉しく思っております。

皆さんが入学したのは2020年4月です。コロナが世界中を襲い、世界はパニック状態となり、皆さんはステイホームを余儀なくされました。入学式は全員マスク姿。教室でオンラインで行われ、直接皆さんの顔を見ることなく、入学式の式辞を述べなければならなかったこと残念でなりませんでした。授業スタートは6月。マスク姿の仲間たち、果たして友達ができるのかという不安もあったでしょう。

私は入学式の式辞で、皆さんにこう話しました。「2020年のスタートは皆さんにとって、卒業式や入学式が平常通り開催されずに、悲しく残念な思い出、悔しい思い出となったかもしれません。しかし、3年後の2023年3月にはあの時はあのような形の卒業式、入学式だったけれども、今となっては良い思い出、懐かしい思い出ですと言えるような実り多い感動に満ちた『人生で一番短い3年間』にしようではありませんか。」と。

今日は、皆さんのゴールの日です。皆さんにとってこの3年間は、「人生で一番短い3年間」だったのでしょうか。もし、私のこの問いに大きく頷いてくれ

る人が多くいてくれるならば、私たち教師は嬉しい限りです。例え、人生で一番短く感じた高校生活であっても、皆さんにはそれぞれ1000日に及ぶドラマがあったはずです。試合に敗れ悔しくて人目もはばからず流した涙、スクールバスの中での友との語り、自分の思うようなパフォーマンスができず部活をやめようと悩んだ日々、グラウンドでクラスが心ひとつになって飛んだ大縄跳び、進路のことで悩み両親と口論となってしまった夜、友と見た南の島の青い海と鮮やかな夕焼け、希望の大学に合格し夢がかなった瞬間。

みなさんの胸に去来する高校生活のシーンはなんでしょう。一人ひとりがかけがえのない青春時代を駆け抜けてきた1000日の日々。それは喜怒哀楽に彩られた眩しく輝く青春の日々であったはずです。

竹は節目があるから成長します。まさに、皆さんにとって悩み、苦しむ葛藤の瞬間こそが節目であったと思います。節目の多い人生は成長した証であるということです。今後とも節目を大切に日々を過ごしてください。

きて、コロナは多くの試練を皆さんに与えました。

「絶望とは愚か者の結論である」という言葉があります。しかし、皆さんは絶望したり、投げやりになったりせずコロナを正しく恐れ、そして、コロナと戦いながら、まさに、知恵を絞り、工夫し、協力し、自己実現を目指してきた世代だと言えます。

これからは、ウイズコロナ、アフターコロナの時代を見据えて皆さんは活

動を始めなければなりません。私たちの日常を取り戻し、もっとより良いものにしていくのです。

コロナによって分断された人々の心、マスクに象徴される人離れ、自己防衛、人と関わることを拒否する姿勢。コミュニケーション不足。本当の自分を見せることに臆病になってしまった時代。そんな時代を変えていかなければなりません。それができるのは真っ先にコロナの洗礼を浴びて青春時代を生きてきた皆さんしかいない、それこそが皆さんに与えられた使命であると思うのです。どうか皆さんが中心となって内向きになってしまった社会を人と人とのつながりの中で成り立つ本来の社会に変えていってください。

そして、今年もこの話題に触れざるを得ません。ロシアとウクライナの戦いは1年を過ぎてしまいました。世界が今揺れ動いています。

私たち人間は有史以来愚かな戦いを繰り返してきました。そして、多くの犠牲の上に手にしたものが、自由と平等と平和であったはずですが、私たちがどうしても守らなければならないものは、自由、平等、平和です。この3つのことが成り立って、初めて幸福は訪れます。海の向こうで戦争が始まった。そんな感覚ではもはやいられないほど地球はグローバル化しており、益々狭くなっています。

もっと、もっと世界を意識してください。皆さんには自由で平等で平和な社会を作るという大きな責任があります。どうかその自覚をもって幸福な社会を

作るために頭にも心にも体にも汗を流してください。

静岡翔洋高校からは悠久の姿をとどめる美しい富士が見えます。<sup>とわ</sup>永遠にそびえ立つ富士のように皆さんの友情もいつまでも続くことでしょう。そして、この校舎はいつまでも皆さんの応援団です。どうぞ、翔洋生らしく胸を張って、自らの抱く希望に向かって歩みを進めてください。希望こそ生きる原動力です。素晴らしい人生の「門出」となることを祈念致しまして、「告辞」といたします。

卒業おめでとう。